

報 告

平成27年8月12日  
環 境 局

第三セクターの経営情報について  
(西日本ペットボトルリサイクル株)

## 1 会社概況（平成27年3月末現在）

### (1) 主要な事業内容

- 再商品化の原材料となるペットボトルの引取・運搬・保管
- 再商品化製品（ペレット・フレーク）の製造・運搬・販売

### (2) 本社・工場

北九州市若松区響町1丁目62番

### (3) 株式及び市出資額

- |            |                |
|------------|----------------|
| ①資本金       | 1億円            |
| ②発行済み株式の総数 | 2,000株         |
| ③当期末株主数    | 6名             |
| ④市出資額      | 500万円（出資比率 5%） |

### (4) 当期末従業員

40名（役員3名を除く）

## 2 平成26年度事業報告

### (1) 全国のペットボトルリサイクルの状況

原料調達先である指定法人（（公財）日本容器包装リサイクル協会）の平成26年度全国引取計画量は、前年度並みの201.5千トンとなり、業界全体では設備の過剰による厳しい環境下での入札となった。平成26年度の落札価格は上期1トン当たり54,800円、下期1トン当たり55,400円と、平成25年度下期1トン当たり46,000円を上回る高値に推移する結果となった。

### (2) 原料入荷の状況

市場動向を踏まえた再生品価格をベースに入札に臨んだ結果、平成26年度上期は5.1千トン、下期は7.7千トンに留まった。そのため、指定法人ルート以外の事業系原料の調達や独自処理自治体の入札へも参画し、年度合計で16.9千トンと前年度並みの原料入荷量を確保した。

### (3) 生産の状況

食品トレイや制服、ネクタイなどの繊維、洗剤ボトルの原料になる「ペレット」及び卵パック、各種繊維製品などの原料になる「フレーク」を生産し、年間出荷量は前年度並みの13.4千トンとなった。

### (4) 販売の状況

新品のPET樹脂の日本国内価格の急落が著しく、再生PET樹脂の需要は縮小傾向となったものの、売上高は前年度並みの17億400万円となった。

(5) 財務の状況

経常損失	28百万円
当期純損失	480百万円

(6) その他

- 北九州エコタウン第一号立地企業として、市内外から多くの見学者を受け入れ、累計8万人を超える。
- 市が設置する環境産業推進会議の新エコタウン部会の幹事社として、本市環境産業の振興に寄与

(参考) 平成27年度の状況

平成27年度（上期）落札結果

- 全国平均落札単価：1トン当たり23,400円での買取
- 同社落札量：9.8千トン

### 3 決算報告書

#### 損益計算書

平成26年4月1日～平成27年3月31日

(百万円)

科 目	金 額
営業損益 ①	▲40
営業外損益 ②	12
経常損益 ①+②	▲28
特別損益 ③	▲445
税引前当期純損益 ①+②+③=④	▲473
法人税調整額 ⑤	▲7
当期純損益 ④+⑤	▲480

#### 貸借対照表

平成27年3月31日現在

(百万円)

資 産 の 部		負債及び純資産の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	561	流動負債	347
固定資産	665	固定負債	60
有形固定資産	664	負債合計	407
無形固定資産	-	資本金	100
投資等	1	利益剰余金	719
		純資産合計	819
合 計	1,226	合 計	1,226